

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2025 発表

「臨床整形外科」誌では整形外科領域に関する独創的で優れた論文を最優秀論文賞として表彰しています。昨年1年間(2025年, 60巻)に掲載された投稿論文を対象に、厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「骨転移カンサーボード、多職種チーム連携を中心とした がん骨転移に対する集学的治療」

村田秀樹, 和佐潤志, 土岐俊一, 伊藤 鑑, 原田英幸, 佐藤哲観
伏屋洋志, 岡山太郎, 佐藤理恵, 常峰麗加, 高橋 満, 片桐浩久

2025年4月号(60巻4号): 377-383

■受賞のことば

このたびは本研究を「臨床整形外科」最優秀論文賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。骨転移患者に対する治療は、疼痛緩和にとどまらず、QOLの維持と在宅生活の実現を目指す包括的医療が求められます。そのためには、放射線治療や手術など局所治療のみならず、リハビリテーションや在宅支援を含めた多職種連携による介入が重要です。本研究では、骨転移カンサーボードを中心とした多職種連携の有効性を、連携の介入率や在宅復帰率、治療後の経時的な身体活動性といった具体的な評価項目で示しました。

本成果は、ご指導いただいた高橋 満先生、片桐浩久先生をはじめ、多職種スタッフの尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。本研究の成果が、今後の骨転移診療における多職種連携体制の構築や早期介入の重要性の理解に寄与し、患者の機能維持と在宅生活の実現に貢献することを期待しております。今後も患者を支える医療に貢献できるよう努めてまいります。(村田秀樹)



村田秀樹

県立静岡がんセンター整形外科

本論文は2027年6月1日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「医書.jp」内において無料でご覧いただけます。受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。雑誌「臨床整形外科」に奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。